

## 2022年3月期 第2四半期決算説明会(2021.12.10開催) 主なQ&A

- Q1. ベントナイト事業の土木分野について、一般土木と復興関連、それぞれ公共工事の遅延と工期延長による先送りがあったと伺ったが、具体的にはどのような内容なのか。
- A1. 一般土木関連での主な遅延は、外環道工事、喜多方の止水壁工事となっております。復興関連では、現場オペレーションの関係で、工期が延長されることとなっております。当社製品の今期年間使用量は減少しましたが、その分工期が延長となるため、総量はほぼ変わらないと見込んでおります。
- Q2. 低レベル放射性廃棄物案件の話ですが、2年後の2024年3月期に「土木（復興）+低レベル放射性廃棄物」で売上:14億6千万円、営業利益:4億4千万円ということですが、低レベル放射性廃棄物の売上と利益はどれぐらいを見込んでいますか？
- A2. 詳細な製品の決定がこれからなので、具体的な売上等の数値は回答を差し控えさせていただきます。当案件の期間は約5年間で、総量は約15万トン~18万トンを予定しています。2024年3月期、中期計画の最終年度から少しずつ入ってくると見込んでおります。
- Q3. 原材料高、コスト上昇が利益に影響があったかと思うが、価格改定は検討しているのでしょうか
- A3. 海上運賃や原油の価格が、今期に入って徐々に上がってきたという中で、特に輸入原鉱を多く取り扱う鋳物部門で価格改定の交渉を7月から始め、10月から価格改定を実施しております。
- Q4. 中期計画の中に値上や原材料の上昇は、織り込まれているのですか
- A4. ある程度織り込んでいます。
- Q5. 社長にお伺いしたいのですが、今年6月にバトンタッチされて、なぜこのタイミングだとお考えですか？また、勢藤社長の代となり、どこを一番変えようと思っておりますか？
- A5. これからの時代は、不確実性が高く、変化のスピードも激しいVUCAの時代だと言われており、ベントナイト業界も同様と考えております。今後の企業経営は3年、5年先を見れば良い話ではありません。ベントナイトも資源産業でありますので、20年、30年先を見ながら経営をしていかなければならないということで、6月末の総会でバトンを受けたと解釈しております。

このような環境下、私を始め従業員に必要なスキルは、「変化に強い組織、変化を楽しめるような組織」だと思っています。その為には、人材教育、人材投資というものを、どんどん強化していく必要があると思っております。変化に強い会社となって、付加価値をどんどん高めていく、そのような組織にしたいと強く思っています。

以上